

市町村職員技術研修

令和4年度 市町村職員技術研修のご案内

令和4年度の市町村職員技術研修会を、次のとおり開催します。

これまでの若手職員を対象とした基礎的な項目に加え、中堅・ベテラン職員までを対象とした実践的な項目に内容を拡充します。

また、今年度より全ての研修会の参加費を有料とさせていただきます。

受講のお申し込みは、当センターホームページよりお願いいたします。

研修に関する詳細な内容は、当センターのホームページを参照又は都市整備事業部研修担当までお気軽にお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大阪府の「感染拡大予防にかかる標準的対策」を徹底した上で実施しています。

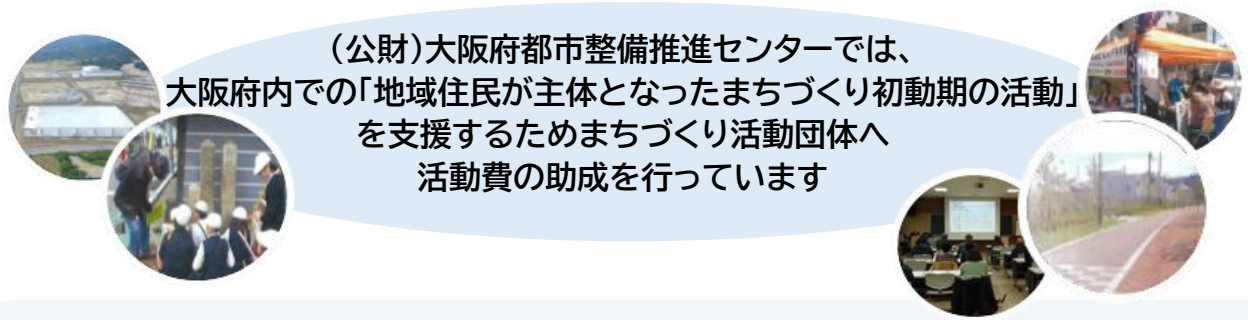


※会場は大阪産業創造館、ドローン体験学習は貝塚ドローンFで行います

	開催日 【コース】	研修会名	研修内容(予定)	定員 (人)	参加費
1	5月下旬 【1日】	土砂災害に気をつけよう！ 「土砂災害防止の入門講座」	① 土砂災害とその対策 ② 大阪の地質と土砂防災	50	2,000円
2	6月上旬 【1日】	災害に備えよう 「災害対応及び災害査定研修」	① 気象及び地震に関する防災知識 ② 災害査定受験時の注意点	50	2,000円
3	7月上旬 【午後】	ICT, UAVなど 「建設DXの基礎知識」 又は 土木積算「積算の基礎知識」	NEW ① 建設DXとは (ICT技術, BIM/CIM, 5G, クラウドサービス等) 又は ② 積算の基礎(直接工事費, 共通仮設費, 指定任意仮設費, 機械損料・賃料の使い分け)	50	2,000円
4	8月上旬 【1日】	地盤調査の基礎講座 「地盤調査解説と 支持力計算演習」	① 地盤調査の基礎知識・近年の土砂災害について ② 土質調査方法 ・土質定数の考え方と支持力計算への影響 ③ 直接基礎・杭基礎の支持力計算演習	50	2,000円
5	8月下旬 【午後】	樹木管理の基礎 「公園及び街路の樹木維持管理」	① 樹木の維持管理 ② 傷める樹木の診断治療・処置	50	2,000円
6	9月上旬 【1日】	資格取得を目指す 「土木施工管理」	NEW ①「土木施工管理」	50	2,000円
7	10月中旬 【1日】	舗装の入門講座 「舗装の設計・施工・補修」	①「アスファルト舗装の構造設計」 ・舗装及び舗装補修の構造設計 ・排水性、透水性舗装の特徴 ②「アスファルト舗装の施工・施工管理」 ③「舗装の維持修繕と工法の選定」	50	2,000円
8	9~10月 【3日】	ドローン活用研修 「ドローンの基礎と操作」	① 基礎学習(ドローン概要) 1.0日 ② 体験学習(ドローン操作・飛行)1.0日 体験学習(ドローン飛行・撮影)1.0日	16	12,000円

お問い合わせ先:市町村技術支援課 TEL:06-6262-7670
https://www.toshiseibi.org/urban_development/

令和4年度 まちづくり初動期活動サポート助成の募集を行います



(公財)大阪府都市整備推進センターでは、
大阪府内での「地域住民が主体となったまちづくり初動期の活動」
を支援するためまちづくり活動団体へ
活動費の助成を行っています

■ 助成対象となるまちづくり活動

- 地区計画・建築協定・緑化協定などの「ルールづくり」をめざした活動
 - 土地区画整理・市街地再開発・道路整備・公園整備等の「街の形づくり」をめざした活動
- そのほか、防災、防犯、バリアフリーなどの「安心・安全なまちづくり」、景観保全や生活道路整備などの「良好な住環境の保全・住環境の改善」、空き店舗活用やポケットパーク整備などの「街なかの再生」、市町村がまたがる「広域連携型のまちづくり」などをめざした活動も対象となります。

※清掃等の日常等の維持管理活動、参加者の生涯学習や健康増進のための活動、整備工事等まちづくり実施段階の活動は助成の対象となりません

■ 助成内容

活動内容に応じて、どちらかのメニューを選択してご応募ください

はじめの一步助成部門

(1回10万円 合計2回まで)

まちづくりの学習、意識啓発などの活動に対する助成です

どんな活動
をするか勉強
したい場合は
こちら!

STEP
UP!

初動期活動助成部門

(1回50万円 合計3回まで)

まちづくり構想の策定、ルール作り等の活動に対する助成です

具体的なまち
づくり検討を
進める場合は
こちら!

上記に加え、特に土地区画整理をめざす活動には、ノウハウ豊富な当センターの直接支援(勉強会講師や構想検討支援など)も受けることができます!

■ 受付期間

- 事前相談受付 : 令和4年4月11日(月)～5月27日(金)
- 申請受付 : 令和4年5月6日(金)～6月3日(金)
- 助成決定 : 令和4年7月上旬頃

詳しい応募内容は4月上旬頃、当センターのホームページに掲載します。関心をお持ちの方はホームページをご覧ください。お気軽に下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先:まちづくり支援室 TEL:06-6262-7713
https://www.toshiseibi.org/urban_development/

「新安治川水門アイデアコンペ・絵画コンクール」の 入賞作品が決まりました

当センターが大阪府等と開催しました「新安治川水門アイデアコンペ・絵画コンクール」について審査が行われ、入賞作品が決定しました。

アイデアコンペでは最優秀賞、優秀賞、奨励賞および審査員特別賞、絵画コンクールにおいては最優秀賞、優秀賞、奨励賞およびおもしろあいであ賞がそれぞれ選出されました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、表彰式は中止とし、バーチャル展示交流会にて現在、作品が提示されています。→ [新安治川水門 展示交流会](#) [検索](#)

【アイデアコンペの部】



海の手門



最優秀賞

「海の手門」

川村宣元

(川村宣元建築設計事務所)



守り、干渉する すいもん



優秀賞

「守り、干渉する すいもん」

チーム名:ULD

梶谷英弥(京都大学大学院 工学研究科 社会
基盤工学専攻)、畑喬介(同)
渡瀬遣太(同)、毛利祐輝(同)



奨励賞

・帰ってきた「まちみなど」 Bente
Biennale」

チーム名:NE-2

水野裕介(大日本コンサルタント株式会社)、近
藤美沙(同) 坂元泰平(同)

・「NEW GATE バイエリアと都心部を結
ぶ場所」

長谷川夏輝(富山大学 都市デザイン学部 都
市・交通デザイン学科)、
上埜由美子(同)、王永成(同学科 助教)

・「BENTEN2050」

チーム名:ユーレイブル

小林諒(佐藤総合計画 / yuureibool)、宇田
川剛(同)、田中達大(トライコン株式会社 /
yuureibool)、木下翔太(ケーティマシナリ
株式会社/ yuureibool)



審査員特別賞

・「安治川いいであいプロジェクト」提案書

チーム名:安治川げんきプロジェクトチーム

【絵画コンクールの部】 最優秀賞 (6作品)



「みんなの歯車水門」
ヨシダ ナサ(4年)



「魚類水門」
シゲノ タカユキ(4年)



「カラフルバルーン水門」
ナカジマ ソウスケ(4年)



「ロボット水門」
ヤマモト トモキ(3年)



「本ものそっくり!?時間になると音がな
る みんなにやく立つ楽しい水門」
イトウ サクミ(2年)



「ふん水式じゅんかん型水門」
ウエダ コウタロウ(4年)

たくさんのご応募
ありがとうございました!



他、優秀賞6作品、奨励賞18作品およびおもしろあいであ賞6作品が選出されました

詳しくは新安治川水門アイデアコンペ 公式ウェブサイトへ ajigawasui-mon-compe.info

お問い合わせ先:まちづくり支援室 TEL:06-6262-7713

此花西部臨港緑地エリアでの水辺賑わいづくり

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに隣接する安治川右岸の此花西部臨港緑地エリア（所在地：大阪市此花区桜島）において、当センターも参画して賑わいづくりを進めています。

周辺の夢洲では大阪・関西万博（2025開催予定）や統合型リゾート（IR）（2029開業目標）を見据えたまちづくりが進められている状況なども踏まえ、このエリアの活用に向け、2020年頃から地先自治体の大阪市此花区役所と緑地管理者の大阪港湾局は周辺関係者等と勉強会を重ねてきました。その中で区長から堂島川左岸の中之島バンク스에서水辺賑わいづくりに実績がある当センターに支援要請をいただき、この取組みに参画することになりました。

2021年12月1日に関係行政機関や地元団体、地先民間企業等で構成する「此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり協議会」が設立され、当センターは協議会事務局とエリアを占有して賑わいづくりを行う主体を担うことが決まりました。

続いて協議会では12月24日、取組みの考え方、方向性、進め方等を示す「此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり構想」を作成しました。今後この構想に基づき関係者で連携して取組みを進めていきます。

その第一歩として2022年3月7日、本エリアは大阪府から都市・地域再生等利用区域の指定を受けました。続いて当センターにおいて6月ごろ賑わいづくりを行う民間事業者の公募を予定しています。今後の展開にご期待ください。

※取組詳細を大阪市此花区のホームページでご覧いただけます
<https://www.city.osaka.lg.jp/konohana/page/0000549489.html>



此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり協議会
 （令和3年12月1日設立）

- ・水辺の賑わいづくり増進のための地域の合意形成、意思決定の場
- ・運営委員長 大阪市此花区長
副委員長 大阪港湾局長
- その他、河川管理者（大阪府）、此花区地域振興会、地先民間企業等の全12団体で構成

此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり構想のポイント

- ◇ 2つの取組みの柱によりエリアの水辺賑わいづくりを実現
 - (1)水辺遊歩空間の創出
 - (2)舟運等のネットワークの形成
- ◇ 構想の意義・目的
 - ①水都大阪の成長・魅力向上につながる「場」と「機会」を『公民連携』により創出
 - ②このエリアを訪れるすべての人々に、「場」・「機会」を通じて大阪・水都を感じてもらう



水辺賑わいづくりのイメージ（構想より）

お問い合わせ先:まちづくり支援室 TEL:06-6262-7713

藤井寺市津堂・小山地区まちづくり 事業化検討パートナー決定！

当該地区は市街化調整区域に位置しつつも、地域幹線道路である都市計画道路八尾富田林線沿道にあります。この街路事業の整備効果を十分に活かす周辺まちづくりを検討するため、令和2年7月にまちづくり協議会を設立され、行政も一緒になって検討を進めてこられました。

今般、民間企業のノウハウを取り入れて、より一層具体的な検討を進めていくため、事業化検討パートナーを募集され、多くの企業から応募がありました。その後、提案内容のプレゼンテーションと審査会を経て、令和4年3月13日に協議会総会を開催し、事業化検討パートナーとして戸田建設(株)大阪支店を決定されました。今後は土地区画整理事業の実施を見据えた体制が強化され、事業の実現に向けた様々な取り組みが進められていくことでしょう。

これからの事業化検討が実りあるものとなり、市域・地域の益々の発展に繋がっていくことを祈念いたします。



協議会総会の様子

お問い合わせ先:都市整備事業課
TEL:06-6262-7712

千里ニュータウン 近隣センター事業

千里ニュータウンにおける近隣センターの活性化の取り組み

当センターや地元市など関係6者で構成する千里ニュータウン再生連絡協議会では、同協議会が策定した「千里ニュータウン再生指針2018」に基づき、ニュータウン再生のための16の取組みの1つに掲げている「近隣センターの活性化」について検討を進めています。

具体的な取り組みとしては、当センターが管理しているオープンスペース等を活用し「キッチンカー」「マルシェ」等の出店などに取り組みとともに、特に今年度は大阪大学工学研究科の木多研究室と連携し、新千里南町近隣センターにおいて小学生を含む親子を対象とした「ワークショップ」を開催しました。

これは、子どもたちによる自分たちの居場所・空間づくり体験を通してコミュニティを醸成し、近隣センターの活性化等につなげることを目的に開催したもので、11月23日(火・祝)には椅子や机にもなる「ちいさなハコ」づくり、12月19日(日)には「わたしたちのたんけんちず」づくりを行い、それぞれ多数の方々に参加いただき大変盛況のうちに終わることができました。

今後も、地元市や地権者などが実施する活性化の取り組みについて、関係者と連携しその支援に取り組んでまいります。



令和3年11月23日(火・祝)開催
(南町会館1Fピロティ)

豊中市・新千里南町
近隣センター



令和3年12月19日(日)開催
(南町会館2階空室)

お問い合わせ先:千里事業部
TEL:06-6871-5817



令和3年度 橋梁定期点検が完了しました！

当センターでは、これまで府内35の市町村と協定を締結し、その市町村が管理する橋梁など道路施設の定期点検業務を一括発注方式で実施しています。

今年度の点検は橋梁約800橋に加え、道路構造物、照明灯点検を実施しました。

その中で、Ⅲ判定となった橋梁について一部をご紹介します。

※ Ⅲ判定：「早期措置段階」構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。



【橋梁概要】

架設年度不明、RC単純中実床版橋
橋長：2.0m 幅員：5.0m

【損傷状況】

コンクリートの剥離、鉄筋の露出が橋梁面積の約8割に発生。（拡幅のための桁増設範囲を除くと、全面に同等の損傷が発生。）

今後、損傷が進行すると、橋梁（床版）機能が果たせなくなるため、早急な補修が必要な状態。

【損傷原因】

かぶり不足により中性化が進行し、鉄筋に腐食が生じ、さらに桁増設部の施工目地及び橋梁側面からの雨水等の伝い水の浸透により腐食が進み、コンクリートがうき、剥落したと推測される。

【対処法(案)】

鉄筋の防食処理、断面修復、端部に水切り設置 等



【鉄筋主桁】

剥落・鉄筋露出 (1800mm×1800mm×60mm)



【鉄筋主桁】うき (1800mm×1800mm)

【橋梁概要】

架設年度不明、鋼I桁橋
橋長：4.0m 幅員：2.0m

【損傷状況】

3本の主桁（H-150）の内、中央の主桁が支点付近で腐食している。

ウェブの大半と下フランジの大半が腐食しており、強度は殆ど期待できない。

上流側の主桁もウェブに穴が生じており、早急な応急措置が必要である。

【損傷原因】

伸縮装置がなく、橋面から土砂・雨水が流れ落ちたことにより、腐食が生じ、狭隘・閉鎖空間で湿潤状態であったことから腐食が進んだと推測される。

【対処法(案)】

応急対策 → 橋台桁受け面と床版の間に、角材やコンクリートブロック等を詰めて、急激な沈下を防止する。

抜本的対策 → 早急に補強、架け替え 等



【主桁】腐食・欠損 (300mm×100mm)
下フランジ板厚減少 (2mm)



【主桁】食孔2か所 (10mm×10mm)

橋梁点検 新技術研修を実施しました！

令和3年度に橋梁点検における「新技術の活用検討」が国の補助要件として追加されたことから、橋梁点検研修において新技術のデモンストレーション研修を茨木市及び貝塚市で実施しました。

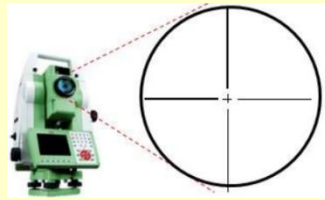
(1) 茨木市 大門寺橋 (L=131.3m、W=10.0m、3径間連続非合成鋼箱桁橋) 【実施日：10月28日、参加人数：10名】

◆「シン・クモノス」……クモノスコーポレーション(株)

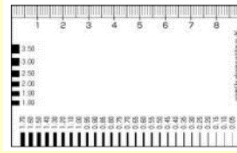
<光波測量機及び高解像度カメラによる高精度点検システム>

ひび割れ計測システム「KUMONOS」によるひび割れ計測技術とデジタル画像によるひび割れ解析技術を組み合わせた新しいひび割れ計測システムです。

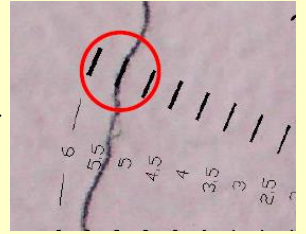
現況図の作成とひび割れのキャリブレーションにKUMONOSを活用し、ひび割れの抽出・図化をデジタル画像により行うことでひび割れ等の変状調査を高精度且つ効率よく行うことができる技術です。



一般的な光波測量器
トータルステーション



クラックスケール



◆「Matrice300RTK-i」……大日本コンサルタント(株)、(株)FLIGHTS

<ドローンを用いた橋梁点検 マルチコプタ点検システム>

画素分解能0.4mm/Pixelとなるようにレンズを選択、対象構造物との距離を設定、静止ホバリングで撮影、その状態で、隅々までピントが合うようにカメラパラメータを設定します。このように設定したドローンで取得した画像を、3次元的に合成したあと、大根のかつら剥きの様に2次元に表面を展開した画像をもとにAIによるひびわれ検出を行います。



Matrice300RTK-i



AIにより検出されたひびわれ

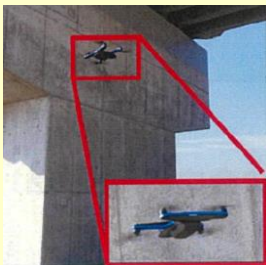
(2) 貝塚市 北境川2号橋 (L=5.4m、W=5.9m、RC単純中実床版橋) 【実施日：12月3日、参加人数：21名】

◆「ひびみつけ」……富士フィルム(株)、(株)ムサシ、ムサシ・フィールド・サポート(株)

<AI活用画像解析システム 「ひび割れの自動検出」及び「ひび割れ幅の自動計測」>

近接目視点検の代替として撮影したコンクリート画像からAIがひび割れ箇所を自動検出し、損傷の見落とし防止を支援するソフトウェアです。写真撮影は、ドローンや一眼レフカメラを推奨しています。

写真を撮って、ソフトウェアでひび検出するという簡単フローです。



お問い合わせ先:市町村技術支援課 TEL:06-6262-7670

令和3年4月から密集市街地サポート助成を強化しています！

地震時等に著しく危険な密集市街地の早期解消に向けて、大阪府密集市街地整備方針が改定(令和3年3月)されたことを受け、当センターでは、**令和7年度まで**文化住宅等所有者や地域住民等のまちづくり活動のための支援をさらに強化し取り組んでいます。

これまでの『建替え等相談支援』・『建替え検討支援』等や『密集市街地まちづくり活動支援(まちづくり活動支援・感震ブレーカー設置支援)』に加え、以下の支援を**拡充・新設**しています。



密集市街地のサポート助成制度

(堺市・豊中市・守口市・寝屋川市・門真市・東大阪市及び大阪市の各指定地区を対象)

◆ 文化住宅等売却支援(支援内容拡充)

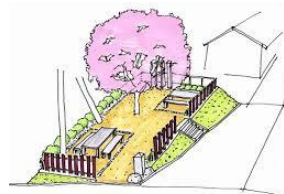


文化住宅等の売却時の必要な費用に助成し、売却を引続き支援します。今までの一般文化住宅等への助成に加え、特定建築物(除却すれば延焼抑止の効果が大きい建物)に該当する場合は助成金を増額します。

【助成額】

- 一般文化住宅等:売却する一般文化住宅等の敷地面積
当たり3千円/㎡で90万円/件を限度に助成
- 特定建築物:売却する特定建築物の敷地面積当たり
5千円/㎡で150万円/件を限度に助成

◆ 空き地コモンズ整備支援(支援内容拡充)



今までの広場・緑地のみならず、広く地域コモンズ(地域住民のための共用スペース)として利用する土地の整備費や管理費に助成します。併せて、そこに隣接する建物を地域コモンズとして利用するための改修費にも助成します。

【助成額】

- ・土地の整備に要する費用:150万円/ヶ所を限度に助成
 - ・土地に隣接する建物を改修して一体的に利用する場合には、その改修費及び維持管理に必要な備品等費用の一部を150万円/ヶ所を限度に追加で助成
 - ・管理に要する費用として、年2万円/ヶ所を助成
- ※なお、第三者に管理の一部を委託する場合は年10万円/ヶ所を限度に加算

◆ 隣地統合支援(新規支援)



土地の有効利用促進のため、利用困難な未接道や狭小等の隣地を取得し、現所有地と一体的に利用される場合は、その取得に必要な費用の一部を助成します。

【助成額】

- 下記①～④合計の必要費の内の1/2を、50万円を限度に助成
- ①測量・明示費用、②登記費用、③不動産取得に係る仲介手数料、④隣地所有者調査等に係る弁護士等の委託料

※ 公共性が高い利用を行う場合は追加助成あり

◆ 建替え等相談・建替え検討支援

従来からの支援



- 建替えに限らず、土地活用や売却などについて広く相談をお受けします。
- 建替えプランの提案を行います。

◆ 密集市街地まちづくり活動支援

密集市街地内の自治会等での以下の活動を支援します。



- まちづくり活動支援
密集市街地を災害等に強く、住みよいまちにするために行う活動に支援をしています。
- 感震ブレーカー設置支援
地震時の電気火災対策に効果的な感震ブレーカーを概ね5割以上の世帯が設置する場合、自治会の組織に対し、購入費・設置費の支援をしています。

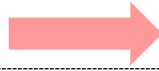
ご好評の密集市街地サポート助成の活用事例を紹介します。 ぜひご活用ください！

■ 建替え検討支援の事例 (利用率の低い駐車場の活用案を無償で提案)

寝屋川市の萱島東地区で長屋住宅複数棟や複数の駐車場等を一団として所有される地権者に対して、平成30年度に建替え等相談支援、令和元年度に建替え検討支援を行い、古くなっている長屋住宅群の更新と利用率の低い駐車場の活用の一環として、当センター賛助会員から提案した駐車場活用案に基づいて、駐車場集約化によって生じた敷地に新しいサービス付高齢者向け住宅が生まれました。



利用率の低い駐車場



R3年02月：着工
R3年12月：竣工
R3年12月～入居開始



サービス付高齢者向け住宅 1棟
(木造・3階建・50室)



土地活用された所有者様のご感想

利用率の低下している青空駐車場など、今後の土地活用に思い悩んでいたものの、解決に向けた具体的な行動は取れずにおりました。
たまたま主要生活道路整備の関係で来られた寝屋川市の職員さんからセンターの存在を知り、所有地活用についての「ランドデザイン(全体構想)」を相談させていただくことができました。
今回建築したサービス付高齢者向け住宅は、そのステージ計画における最初の取組みです。
センターの賛助会員数社から土地活用についてのご提案をいただきましたが、センターの担当者の方が中立的な立場で間に入っていただいたことで、業者選定のストレスもなく、安心して話を進めることができました。
土地活用に取り組む良い切っ掛けと与えていただき、感謝しております。

■ 隣地統合支援の事例

今年度新設した隣地統合支援の活用事例です。単独では利用困難な土地を隣接地権者が取得し敷地拡大することにより、新たな活用ができるようになりました。

	東大阪市 (若江・岩田・瓜生堂地区)	寝屋川市 (萱島東地区)
イメージ		
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div> <p>隣地統合前</p> </div> <div> <p>隣地統合後</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div> <p>隣地統合前</p> </div> <div> <p>隣地統合後</p> </div> </div>
効果	<p>防災道路(主要生活道路)の拡幅による小規模残地を隣接地権者に取得してもらうことにより、利用できるようになった。</p>	<p>個々では小規模で利用困難な2軒長屋が、隣地統合でまとまることにより、戸建住宅が建築可能になった。</p>



お問い合わせ先: まちづくり支援室 TEL:06-6262-7713

「北摂の樹木葬 木もれびと星の里」

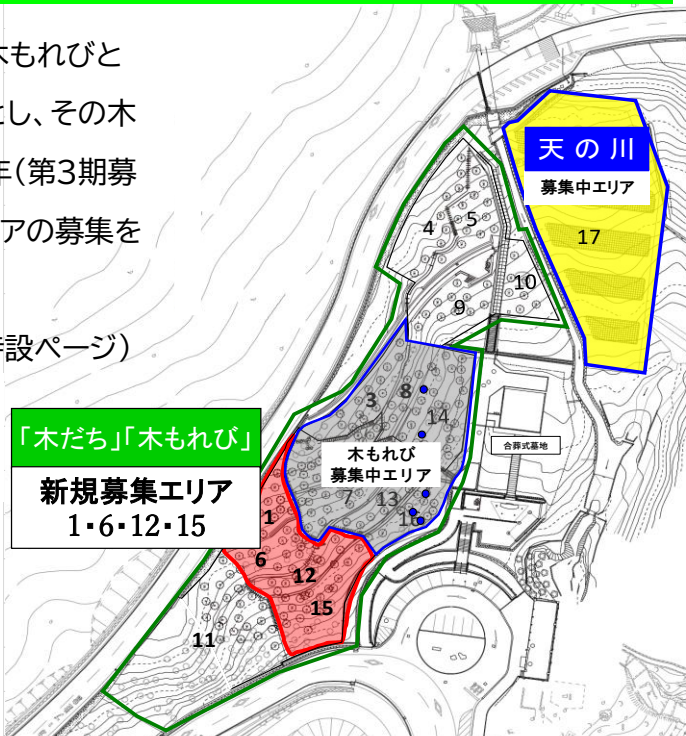
新エリア募集決定

募集期間：令和4年5月22日から6月5日

令和3年6月に開園いたしました「北摂の樹木葬 木もれびと星の里」は、豊かな自然の森の木々をそのまま墓標とし、その木の根元の周りにご遺骨を埋蔵するお墓です。令和4年(第3期募集)の「木だち(専用型)」・「木もれび(共用型)」新エリアの募集を開始します。

募集の詳細が決定しましたら当霊園(樹木葬墓地特設ページ)のホームページでお知らせいたします。

<https://jyumoku.toshiseibi.org>



現在、募集中の樹木葬

天の川(集合型) 16万円/1体	木もれび(共用型) 25万円/1体
---------------------	----------------------

「北摂の小さなお墓」新規区画募集決定

募集期間：令和4年5月22日から6月5日

「北摂の小さなお墓」は、皆様のご要望から生まれました。使用期間を30年間と定め、区画を小さくしたお墓です。その期間内ご家族や仲の良い親戚や友人で利用(埋蔵は4名まで)でき、使用期間終了後は当霊園が責任をもって墓じまいを行い、合葬式墓地に改葬する契約となります。初期費用以外一切必要ありません。墓石は、自由なデザインもお選び頂く事もできます。



募集の詳細が決定しましたら当霊園(小さなお墓特設ページ)のホームページでお知らせいたします。

<https://kuwari.toshiseibi.org>



お問い合わせ先：霊園管理課
TEL:06-6871-0577

発行 公益財団法人 大阪府都市整備推進センター

〒541-0053 大阪市中央区本町1丁目8番12号 オーク堺筋本町ビル5階

TEL:06-6262-7713 FAX:06-6262-7722

e-mail:omsk@toshiseibi.org URL:<https://www.toshiseibi.org/>

